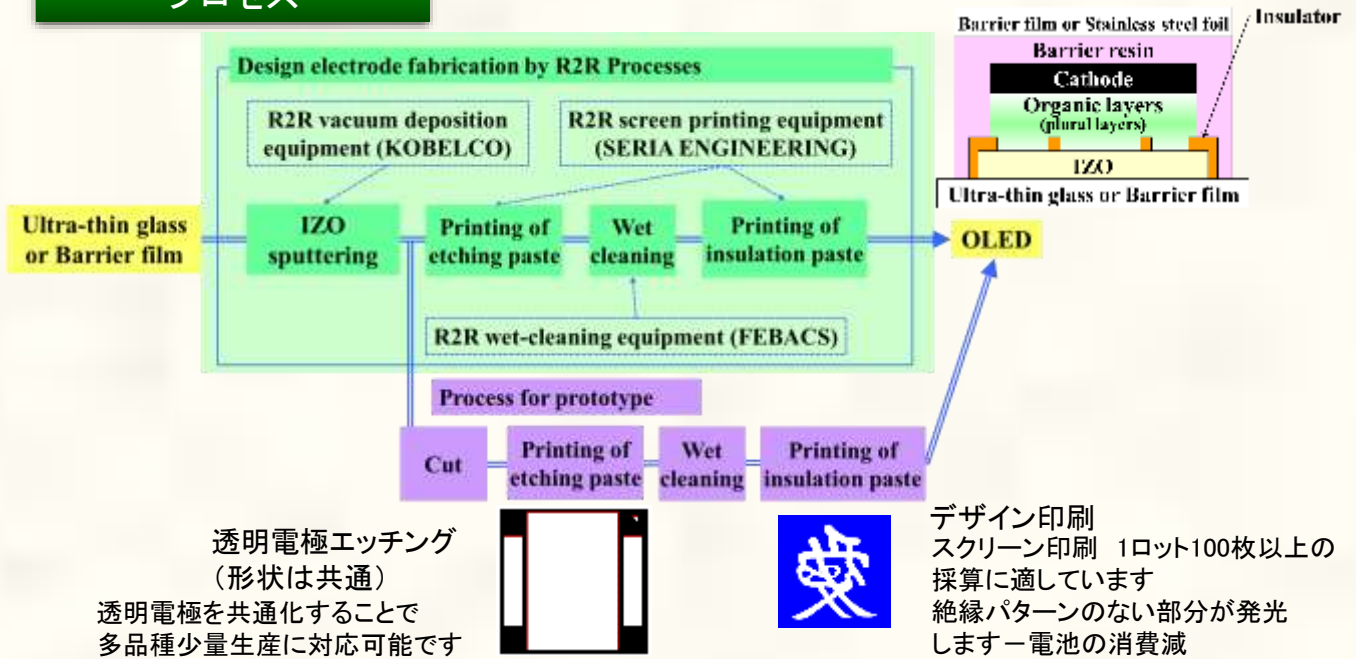


有機ELを用いたユニークな製品

技術の特長

- 有機ELを用いたユニークな製品

プロセス



米沢の伝統工芸品とのコラボ

原方刺し子

刺し子(さしこ)とは、手芸の一分野で、布地に糸で幾何学模様等の図柄を刺繍して縫いこむことで、麻や木綿しかなかった昔、布に糸を2刺すことによって少しでも丈夫に、そして暖かくという生活の知恵と、家族への愛情が作り出した手仕事のことです。
関が原合戦敗戦後、120万国から米沢30万石に減封された上杉家とともに移り住んだ武士「原方衆」たちが半農半士を余儀なくされ、その妻たちが、着るものもままならない貧しさの中で、布に糸を刺すことでつなぎ合わせたり重ね合わせて、丈夫に長持ちするようにと刺し子を施したことが始まりです。
さしこ工房『創匠庵』 遠藤さよ子



原方刺し子(伝統工芸品)



光るネクタイ 有機EL部分-麻の葉模様
麻のようにまっすぐ丈夫に育つように、多くの人と繋がって生きていけるように、との思いが込められている。

米沢のマスコットキャラクター

かねたん

「かねたん」は、2009年NHK大河ドラマ「天地人」放送決定にあわせて、主役である「直江兼統」のマスコットキャラクターとして誕生しました。忠義の象徴、犬がモチーフでチャームポイントは凛々しい眉毛。愛の前立ての兜をかぶり、きりりとした姿は戦国武将そのものです。



ペンシルケース



ぬいぐるみ



コースター

その他



葉



表札



お札